

成徳地区青少年健全育成協議会 青少協だより

第6号発行 令和2年3月1日

事務局：倉吉市成徳公民館 22-1301

令和元年度 事業を終えて

小学生の登下校時間帯に町の様子を見ると、地域の皆さんが登校の列に加わってくださっていたり、声を掛けてくださっています。そんな姿を見かけると、成徳地区には「子どもを地域で育てる」という文化が根付いているのだと気づかされると同時に、学校と家庭さらには地域が協力して子どもたちの健やかな成長を願っている事に改めて喜びを感じています。

青少協では今年度もご報告する子どもの体験講座や、その育ちを支える大人の研修会、成徳公民館や小学校 PTA と連携した事業を展開してきました。そこには多くの地域の皆様や保護者の皆様のご理解やご協力があったからこそ開催できたものです。次代を担う地域の子どもの豊かな人間性を育むためにも、青少協の活動への益々のご協力をお願いし、このたびの「青少協だより」を皆様のもとにお届けします。

成徳地区青少年健全育成協議会 会長 日野彰則

指導者研修会

◆実施日：令和元年10月8日（火）◆場所：成徳公民館

「成徳小学校の目指す子どもの姿と新しいカリキュラム」



成徳地区青少年健全育成協議会役員・会員、成徳小学校 PTA 役員、東中学校成徳地区 PTA 役員を対象に毎年、研修会を開催しています。今年度は成徳小学校、堀 良一校長先生より成徳小学校児童の現状から、新しいカリキュラムを通して目指す姿や本物の活動体験の大切さが成長の力になることを話していただきました。これからの子どもたちに必要な力とは、様々なことに積極的に向き合う力。他者と知恵を出し合い課題を乗り越えていく力。様々な情報をもとに新しい価値を生み出す力。知識として知っているだけでなく、協働して解決していく力を身に付けることで「生きる力」が育まれていく。主体的な体験、人とのかかわりの中で大きく成長してほしいなど、校長先生ご自身の体験を交えながら、子どもたちへの思いを熱く語ってくださいました。



参加者からは、小学校への愛校心とともに、大人からの声かけ、背を押す力の大切さなど、地域が担うべき役割を皆で話し合いました。

こども修行道場

◆令和元年7月27日(土) 光明寺、くら用心

早朝の体験講座に11名の参加がありました。薄暗い本堂で木魚をの音が少しずつ揃い一つの音になったり、座禅、瞑想体験で心を静めるため呼吸の回数を数えるなど、集中力、忍耐力の大切さに気付くことができました。朝食は、くら用心で初めての汁一菜の食事を行い、全てを食べつくすという意味の洗鉢の食事作法を教わりました。早朝の食事指導には今年度も食生活改善推進員の方々に大変お世話になりました。



セミの羽化観察会

◆令和元年7月31日(水) 陸上競技場

1年生から中学・高校・保護者まで22名の参加があり、地域にお住いの田村昭夫さんにご指導いただき、夜の陸上競技場の木々をライトで照らしながら、セミの羽化を探しに行きました。参加した子どもたちの「ここにいたよ!」の声がそここで上がり、参加者全員がドキドキ・ワクワクで観察しました。幼虫から羽化する瞬間の無防備な時間に捕食される個体もあり、命の尊さ、神秘さの夏の自然を体験しました。



「地域で子どもの見守り活動」啓発のチラシ配布

今年度も児童・生徒の登下校時に、家庭の玄関先などで声かけを行い、「あいさつ」や「見守り」をすることで見守り活動をより一層推進することにしました。啓発のチラシを各戸配布し、取り組みの協力を求めました。

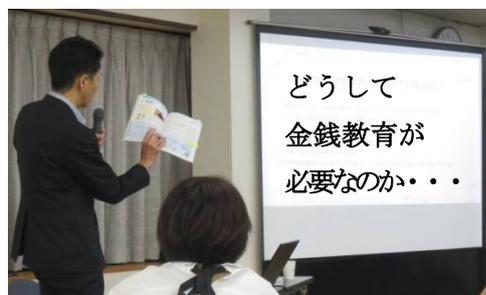


講演会

◆実施日：令和元年7月17日(水) ◆場所：成徳公民館

「金銭教育講座 ～わが子に教えない夢をかなえるためのお金の特訓～」

講師：日本FP協会 鳥取支部支部長 田中 功さん



倉吉市成徳公民館主催の「金銭教育講座」の共催・後援を行いました。お金に振り回されないように、お金と上手に付き合うための必要な知識と判断力を養う。物の適正な値段、価値を知る。良い

お金との付き合い方を親子で話し合う。金銭教育の必要性、お金や金融の働きを理解することが豊かな生き方に繋がっていくことを学ぶ機会となりました。

